

処方箋

カルテ番号		発行	年 月 日
病名			
処方	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤名（一般名）：セフトリアキソン ・英名：Ceftriaxone ・分類：抗菌薬 ・分類（略称）：セフェム系 ・用法：静注 ・表示区分：なし <p>[禁忌・慎重投与]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁忌：過敏症患者、高ビリルビン血症の低出生体重児、新生児 <p>[作用]</p> <p>細胞壁合成阻害により殺菌的に作用。 大腸菌においてはペニシリン結合蛋白（PBP）3に最も親和性高く、細菌細胞壁ペプチドグリカン架橋形成を阻害して殺菌的に作用する。</p> <p>[適応]</p> <p>セフトリアキソンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、淋菌、大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、 プロビデンス属、インフルエンザ菌、ペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属（プレボテラ・ビビアを除く） に起因する感染症</p> <p>[副作用]</p> <p>汎血球減少、無顆粒球症、劇症肝炎、肝機能障害、間質性腎炎、胆石、胆のう内沈殿物、発疹、下痢、嘔気嘔吐など</p> <p>④豆知識（国試対策事項や使用の注意等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第三世代セフェムで、グラム陰性菌に主に作用する。 ●緑膿菌には効果を示さない。 ●カルシウム含有輸液・注射剤とは結晶析出が起こるため、混合してははならない。 ●髄液移行性が高く、髄膜炎に使用できる。 ●半減期が他の抗菌薬に比べ長く、（6-8 時間程度）1 日 1-2 回の使用で効果を発揮する。 ●肝代謝・胆汁排泄のため、腎機能低下患者に使用しやすい。 		